

2024 年度事業報告

2024 年度においては、以下の事業、活動を行った。

1. 会報の発行

会報「フィリピン」を年 4 回発行し、フィリピンの直近 3 ヶ月の経済情勢につき詳細なデータの入った記事を掲載した。マルコス大統領の一般教書演説、初めての日米比首脳会合の開催、第 2 回日比外務・防衛閣僚会合(「2+2」)の実施等、フィリピンや日比関係について重要な出来事があった際には、できる限り詳細な解説記事を掲載した。文化関係の連載記事も継続した。

下記2. の講演会の概要を直後の会報に掲載するとともに、フィリピン日本商工会議所、マニラ日本人会からも、活動報告を盛った投稿を得た。

2. 講演会の実施

- ① 2024 年 7 月 1 日、佐々木聖子 法務省出入国在留管理庁(入管庁)元長官に「就労外国人に関する政策・制度の現在・過去・未来」と題する講演を行って頂いた。
- ② 同年 10 月 16 日、中島敏 海上保安庁元長官に「海をつなぐ～海上保安能力向上等の推進～」と題する講演を行って頂いた。
- ③ 同年 12 月 16 日、宮本新吾 外務省南部アジア部参事官に「安全保障分野における日比間の協力の深化について」と題する講演を行って頂いた。
- ④ 2025 年 3 月 12 日、遠藤和也 駐フィリピン大使に「最近のフィリピン情勢と日比関係」と題する講演を行って頂いた。

なお、会場への参集に加えて Web 聴講も可能とする方式を続けた。また、直後の立食懇親会は、会員間の情報交換、懇親等に資したと考えられる。

3. 親善・交流に関する活動

(1)当協会のカウンターパートである The Philippines-Japan Society(比日協会)が毎年 7 月にマニラで主催する「友好の夕べ」は、2024 年は 9 月に昼食会の形で開催され、当協会から会員が出席し、友好親善に努めた。

(2)2019 年 3 月に当協会として初めて主催した、「比日協会」のメンバー等との交流会は、これら関係者が 2 年に一度東京で開催される日比経済合同委員会に参加する際を利用して行ったものであった。その第二回目は、2023 年 3 月に行ったところ、その第三回目を 2025 年 3 月 2 日に帝国ホテルにて実施し、先方関係者との親善・友好関係を深めることができた。

4. 冬物衣料のフィリピン人看護師・介護福祉士候補への寄贈

会員の家庭で着られなくなった冬物衣料を来日した看護師・介護福祉士候補に寄贈する活動は、2016年度より毎年実施していたところ(2020年度のみ、コロナ禍によりこれら候補が来日できず、本件活動は実施できなかった)、2024年度も、会員から多大の協力を得て継続し、大変感謝された。

なお2024年度末の法人会員は47社、個人会員は91名であった。

(以上)